



# 愛西市議会

**「議会放映等の拡充を求める請願」を不採択！**



愛西市議会議員 吉川みつこ



順位	自治体
40	常滑市
41	東栄町
42	扶桑町
43	東浦町
44	清須市
	設楽町
46	美浜町
47	大治町
	蟹江町
	南知多町
	武豊町
51	愛西市
	阿久比町
53	飛島村
54	豊根村

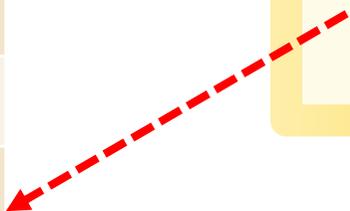
## 愛西市議会の情報公開度 ランキング



・ 県下54自治体中

(38市14町2村中)

**51位**(市で最下位)



# 愛西市議会、隣の弥富市議会(5位)と放映比較

本会議		弥富市	愛西市
一般質問	ケーブル・生中継	○	—
	ケーブル・録画	○	○
	ネット中継(いつでも視聴)	○	—
初日議案説明	ネット中継(いつでも視聴)	○	—
議案質疑	ネット中継(いつでも視聴)	○	—
最終日採決	ネット中継(いつでも視聴)	○	—
委員会ほか		弥富市	愛西市
常任委員会	ネット中継(いつでも視聴)	○	—
全員協議会	ネット中継(いつでも視聴)	○	—
市役所のテレビモニター同時配信		○	—

■ 愛西市議会は、委員会議事録も公開してない

他の自治体 = HPで無料で情報が得られる。中継ですぐに確認。

→ 愛西市: 概ね3ヶ月後に「情報公開請求」。1枚10円

# 愛西市議会へ請願ができました！

## 請願内容

## 最終日は、傍聴席が満席に！

- ① 全会議を、ネット等で同時及び録画配信すること
- ② 全会議の会議録を、HP等で公開すること
- ③ 会議録の検索システムを整備し、閲覧しやすい環境を整えること

## 反対の趣旨

= 反対14 賛成4 で不採択 =

### ① 間違った憲法解釈の発言が続いた

「議会に請願を出すのはおかしい（憲法に反する）」

請願の内容ではなく  
憲法・地方自治法  
の間違った解釈

### ② 吉川が紹介議員を引き受けたことが間違っている

紹介議員は、議会に相談すべきだった。請願ではなく、議会で協議して進めていくべきもの（紹介議員は、請願者を説得すべきであった。）

### ③ コストはかからないと説明しても、費用対効果を理由に反対

# 情報公開請願を不採択

## 愛西市議会 市民の願い届かず

愛西市議会は22日の本会議で、全会議のインターネット同時配信など議会の情報公開拡大を求めた請願を反対多数で不採択とした。請願は、市民グループによる県内全54市町村議会を対象にした「情報公開度ランキング」で同市が全市中最下位とされたことをきっかけに市民が提出。だが、本会議では「費用対効果の面から疑問」「議会自ら検討すべきも会自ら検討すべきもの」「などの反対意見が噴出、提出者の「開かれた議会」実現の願いは届かなかった。

本会議に先立ち15日に行われた総務文教委員会でも審議された。この委員会では高松幸雄議員が「憲法から、議会に関する請願を出すことはおかしい」とする誤った認識に基づく反対討論を行った。この問題が本会議でも取り上げられたが、大宮吉満委員長は「勉強不足の意見があったが意見として受け止めた」と答弁。憲法で議会に関する請願権は認められており、議事事務局は委員会後、高松議員に説明したという。

請願の紹介議員となった吉川三津子議員は取材に「議員からこうした発言が出ることに驚いた。誤った情報で委員会の議論が進んだ事は残念」と話した。請願では、議会の全会議の録面配信や、配布資料を含む会議録をインターネット公開することなどを求めている。【川瀬慎一朗】

# 議会に請願提出「おかしい」

## 高松・愛西市議、常任委で発言

愛西市の高松幸雄市議員(五)二期目、公明が、請願を審議していた常任委員会ですもそもも議会に請願を出すのはおかしい」と発言していたことが、関係者への取材で分かった。野党系の市議は「中身ではなく、権利を否定するような発言はいかなるものか」と反発している。

関係者によると、高松氏の発言があったのは、十五日の六月定例会の総務文教委員会。インターネット上の市議会の動画配信、会議録の公開などを求める市民の請願を審議していた。

高松氏は、請願の紹介議員である吉川三津子市議員(無党派)との質疑の中で、請願の解釈として「議会に対してではなく、行政に対して出すということ」と述べた。その後の反対討論でも、同じ趣旨の発言をしたという。

請願は二十二日の定例会最終日の本会議で、賛成少数で不採択となった。請願権は、憲法で保障された権利。地方自治法によると、自治体に政策上の要望がある場合、住民は議員の紹介によって、議会に請願書を提出できる。

高松氏は取材に「請願権を否定したわけではない。吉川議員が責任を持ち、(請願とは違う形で)行政側に提案すればいいのでは、という意味だった」と説明し、発言の撤回や訂正をするつもりはないとした。(深世古峻一)